

消 防 訓 練 通 報 書

消防訓練通報書の記入のしかた

(1) 年月日	届出書の提出年月日を記入する。
(2) 宛 先	当該防火対象物を所轄する消防署の長宛とする。(大阪市〇〇消防署長)
届出者	(3) 防火管理者 防火管理者の住所、氏名、電話番号を記入する。
(4) 事業所の所在地	当該事業所の所在地を記入する。
(5) 事業所の名称	「〇〇店」、「〇〇ビル」等当該事業所の名称を記入する。
(6) 用途	当該防火対象物の用途を消防法施行令別表第1に掲げる用途区分により「遊技場」、「複合用途（飲食店・物品販売店舗）」の要領で記入する。
(7) 実施日時	当該訓練を実施する日を記入する。
(8) 訓練内容	消火訓練、避難訓練は必ず実施する。
(9) 参加人員	当該訓練当日に参加が予定される人員
(10) 訓練概要	(具体的に記入すること) ・訓練想定（出火場所、逃げ遅れの有無） ・使用機材など 《例》 「〇月〇日〇時××分ごろ、3階飲食店から火災が発生し、3階に逃げ遅れた者がいる。」という想定に基づき、119番通報、管内非常放送、初期消火、避難誘導等の訓練をビル全体で実施する。

(1) 平成 年 月 日			
大阪市 (2) 消防署長 様			
住 所			
(3) 防火管理者 氏 名			
電話番号			
消防計画に基づく消火訓練及び避難訓練を実施するので、消防法施行規則第3条第11項の規定により、次のとおり通報します。			
事業所の所在地	(4) 大阪市 区		
事業所の名称	(5)	用 途	(6)
実施日時	(7) 年 月 日 時 分 から 時 分まで		
訓練内容	(8) 消火訓練・避難訓練 (必須)	<input type="checkbox"/> 通報訓練 <input type="checkbox"/> その他の訓練（応急手当訓練など）	
参加人員	(9) 人		
(10) 訓練概要（具体的に記入すること）			
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

備考 1 訓練計画書がある場合は、添付すること

2 訓練内容の欄は、消火訓練及び避難訓練のほか実施を予定している訓練の口にしを付けること

3 ※印の欄は記入しないこと